地区ロータリー財団委員会要覧

未来の夢試験地区用

©2010 Rotary International 300FV-JA—(810)

目次

はじめに 1
1　ロータリー財団 3
未来の夢計画 4
ポリオ・プラス 5
ロータリー平和センター 5
資金推進（募金） 5
シェア 6
2　地区ロータリー財団委員会 9
ロータリー財団のリソース 11
3　ロータリー財団委員長 15
役割と責務 16
4　補助金小委員会 21
役割と責務 22
補助金に関するリソース 27
5　ポリオ・プラス小委員会 29
役割と責務 30
ポリオ・プラスに関するリソース 31
6　資金推進小委員会 33
役割と責務 34
資金推進に関するリソース 43

本資料は、未来の夢試験地区の2010-11年度地区ロータリー財団委員会用「地区ロータリー財団委員会の手引き」（300FV-JA）の2010年版です。本書の内容は、国際ロータリー定款、ロータリー財団細則、ロータリー財団章典に基づいています。規定審議会およびRI理事会、あるいはロータリー財団管理委員会で加えられたこれらの資料に対する変更は、本冊子に掲載された方針に取って代わります。

はじめに

この手引きは、地区ロータリー財団委員会委員の参考としていただくために作成された資料です。はじめの2つの章は全委員を対象としており、ロータリー財団と地区ロータリー財団委員会に関する概要が説明されています。第3章から第6章までは、委員長と3つの小委員会のために、責務とリソースに関する追加の情報が収められています。

本手引きはウェブサイトからのダウンロードのみでご入手いただけます。青字の部分は、RIウェブサイトの関連ページへのハイパーリンクとなっていますので、各トピックに関する詳細はこれらのリンクをクリックしてご参照ください。

ロータリー財団

1

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリー地区は、財団補助金やプログラムへの参加、ならびに財団への寄付について、地区内クラブの支援と調整を行います。地区ロータリー財団委員会の役割は、財団ならびにその利用方法について、ロータリアンの理解を深めるために支援することです。

未来の夢計画

未来の夢計画の下、財団管理委員会は、補助金の種類と支給方法に大幅な変更を加えました。未来の夢試験段階は、2010年7月1日から2013年6月30日までとなっており、2013年7月からは、全世界すべての地区が新しい補助金構成を導入する予定となっています。

未来の夢試験段階の期間中も、ポリオ・プラス、ロータリー平和センター、募金活動、ロータリー財団の各種表彰については、変更はありません。

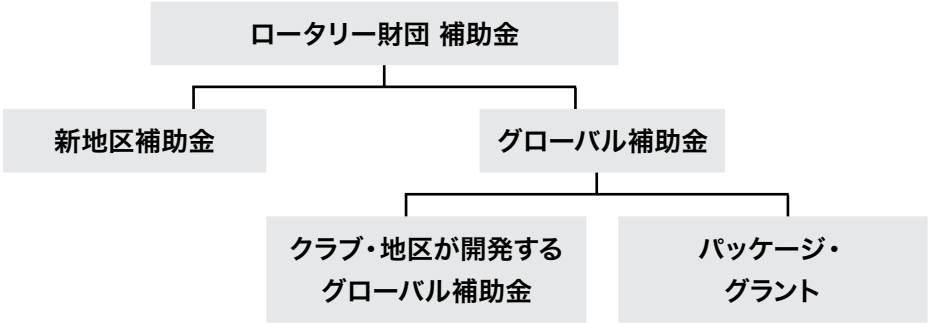
未来の夢計画は以下を目的としています。

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- 測定可能な結果を伴う、持続可能な活動を支援すること。
- ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

新しい補助金構成の下、財団は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金を提供します。また、グローバル補助金には、地区が立案するプロジェクトへの補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。

お忘れなく

未来の夢計画に関する詳細は、地区ロータリー財団委員長と補助金小委員会委員長の責務をお読みいただくか、www.rotary.org/ja/fvdistrict をご参照ください。



ポリオ・プラス

ポリオ・プラスの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明を実現することです。最終的に撲滅が証明されるまで、クラブの会員は、常に最新情報を把握し、活動に関与していくことが大切です。これまで、世界中のロータリアンからポリオ・プラスに9億ドル以上の寄付が寄せられてきました。さらにロータリアンは、診療所を支援したり、予防接種のために地域社会を動員したり、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、草の根のボランティアのネットワークとして精力的に奉仕活動にあたっています。

ロータリー平和センター

平和および紛争解決の分野に関する国際問題研究のためのロータリー・センター（別称「ロータリー平和センター・プログラム」）は、国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力開発修了証の取得を目指す人に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供するものです。地区は、世界競争制の選考審査のために、ロータリー財団にロータリー平和フェローシップ候補者の申請書を提出することができます（提出期日は7月1日）。

資金推進（募金）

財団の補助金は、ロータリアンやロータリーの支援者からの寄付によって支えられています。資金推進（募金）は、補助金プログラムを実施するために財団が必要とする財政支援の確保を目的としており、財団に寄せられた寄付は、寄付者の意思に応じて、年次プログラム基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金のいずれかに指定されます。

年次プログラム基金

年次プログラム基金は、ロータリー財団の補助金とプログラムの主な資金源です。資金は毎年、新地区補助金、グローバル補助金、そのほかの活動のために活用されます。地区ロータリー財団委員会は、「毎年あなたも100ドルを」推進活動を通じて、ロータリー財団への継続的な寄付をロータリアンに呼びかけます。この推進活動の目的は、すべてのロータリアンが財団プロジェクトに参加し、年次プログラム基金に毎年寄付を行うようにすることです。

毎年の財団への寄付をロータリアンに呼びかけることは、次の点において重要です。

- 財団の数多くの功績を知ってもらう。
- ロータリアン一人ひとりに年次寄付を行うよう奨励する。
- 財団の運営に関してロータリアンに情報と知識を与える。
- クラブや地区が提唱する補助金活動に参加するよう、ロータリアンの意欲を高める。

恒久基金

恒久基金は、将来のロータリー財団プログラムや活動を支えていくためのものです。恒久基金への寄付は投資され、投資収益のうち使用可能な割合のみが、財団活動の支援に使用されます。恒久基金への寄付は、奨学金基金、遺贈、終身年金契約といった現金寄付の形で寄せられることが少なくありません。恒久基金への寄付は複雑なため、このような寄付について、地区資金推進小委員会は、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）に相談することをお勧めします。

ポリオ・プラス基金

ポリオ・プラス基金は、全国予防接種日や監視活動といったロータリーのポリオ撲滅活動の経費に充てられます。2007年から2009年にかけて、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が、世界的なポリオ撲滅の支援のために、国際ロータリーに対し、総額3億5,500万米ドルに上るチャレンジ補助金を授与しました。これを受けロータリーは、2012年6月30日までに、この補助金に2億ドルを上乗せして寄付することを約束しました。ポリオ・プラス基金への寄付は、この「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」達成のために算入されます。クラブは、このチャレンジの達成に協力するために、地元地域で独自の募金活動を行うよう奨励されています。ロータリー地区はまた、DDF（地区財団活動資金）を2億ドルのチャレンジに配分することもできます。

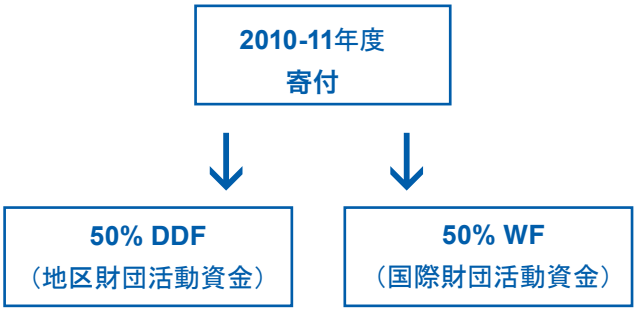
お忘れなく

使用可能なDDFの金額は、使用年度の前年に、地区に通知されます。これにより、地区は、ロータリー年度の開始に先立ってDDFの使用計画を立てることができます。

シェア

シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は、新地区補助金、グローバル補助金、その他の形に姿を変えます。

シェアを通じ、ロータリー年度末に、各地区の年次プログラム基金への寄付が2つの資金（50パーセントがWF［国際財団活動資金］、残りの50パーセントがDDF）に分けられ、3年後に使用されることになります。財団は、WFから、全ロータリー地区が利用できるグローバル補助金とパッケージ・グラントを支給します。地区は、DDFを使用して新地区補助金とグローバル補助金に参加できるほか、DDFをポリオ・プラスやロータリー平和センターに寄贈することもできます。



3年の資金周期

ロータリー財団は、独特な資金周期に従って運営されています。この周期により、地区が計画や参加者の選考を時間的余裕をもって行えると同時に、財団が寄付を投資し、その収益で管理運営費と寄付増進費を賄うことが可能となります。

例えば、2010-11年度の年次プログラム基金への寄付の50パーセントは、2013-14年度にDDF（地区財団活動資金）として使用されます（2013-14年度は全世界における新しい補助金構成の導入初年）。

2010-11年度	2011-12年度	2012-13年度	2013-14年度
寄付および投資	投資	投資	使用

DDFの使用計画

ロータリー年度の前半期に、各地区にシェア・キット（シェア・システム報告書、計画ワークシート、寄贈書式を含む資料一式）が送られます。シェア・システム報告書には、次ロータリー年度に使用可能なDDFの金額が記載されています。ロータリー財団は、補助金申請書が承認された後、もしくはDDFが他地区、ポリオ・プラス、ロータリー平和センターに寄贈された後に、その金額を地区のDDFアカウントから差し引きます。

地区がDDFをどのように使用するかの決定は、地区ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニー（既に選出されている場合）と相談した上で、地区ロータリー財団委員会が行います。クラブのロータリアンが最も関心を寄せているロータリー財団補助金は何かを判断するのは、地区ロータリー財団委員会の責務です。これは、クラブに直接投票してもらったり、地区の月信を通じて意見を求めたり、そのほか地区に適した方法で行うことができます。クラブの意見や意向を把握したら、委員会は、配分する具体的な金額を決定します。地区のDDF予算を立てるのに役立つワークシートがシェア・キットに含まれています。地区ロータリー財団委員長は、DDFの配分を計画し、正確な記録を管理する責任があります。地区ロータリー財団委員長と地区ガバナーが、地区ロータリー財団委員会の決定が反映されていることを確認した上で、DDF使用を承認する署名を記入します。

お忘れなく

シェア・コーディネーターへの連絡は、share.mailbox@rotary.orgまでEメールでお送りください

シェアDDFオプション

- クラブと地区が立案するグローバル補助金
- 新地区補助金
- ポリオ・プラスへの寄贈
- WFへの寄贈
- 恒久基金への寄贈
- ロータリー平和センターへの寄贈
- 他地区への寄贈

オプションを選択する際には、以下の点に留意することが重要です。

- DDFは、ロータリー財団が承認した補助金にのみに使用できます。
- 前年度から繰り越された未使用分DDFについて、8月に地区に通知されます。この未使用分は、現年度に使用できるDDF額に自動的に含まれます。この「繰り越された」金額は、新地区補助金の上限である50パーセントの計算には含まれませんが、現年度のグローバル補助金、またはポリオ・プラスとロータリー平和センターへの寄贈に使用できます。
- 承認された補助金のみが、報告書に記載されます。

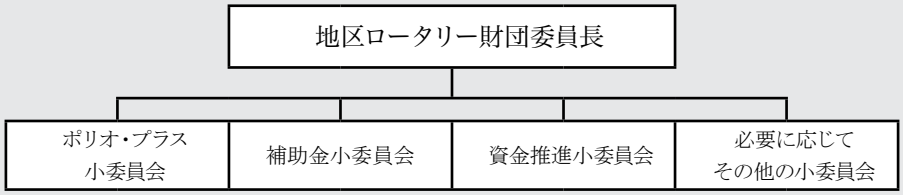
地区ロータリー財団委員会

2

地区ロータリー財団委員会は、経験豊富なロータリアンのグループであり、ロータリアンに情報を提供し、その意欲を高め、財団活動への参加を働きかけるために地区ガバナーを支援します。また、この委員会は、財団とクラブとの間の連絡にあたります。地区ガバナーは、この委員会の職権上の委員を務めます。

未来の夢計画の実施に必要な地区活動が反映されるよう、地区ロータリー財団委員会の編成に変更が加えられ、小委員会の構成がこれまでよりも簡素化されました。地区の関心分野に基づき、必要に応じてこのほかの小委員会を追加することもでき、また、ほかの地区委員会にも財団関連の責務が割り当てられます。

推奨委員会構成



研修の要件

地区ロータリー財団委員会の委員はロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）によって実施されるロータリー財団地域セミナーに出席するよう求められています。さらに、委員は、地区チーム研修セミナーやその他の地区研修会合にも出席するものと期待されています。

お忘れなく

ロータリー財団は、地区ロータリー財団委員長および3名の小委員会委員長と、密に連絡を保ちます。ロータリー平和センターに関する情報は、補助金小委員会委員長を通じて連絡が行われます。

目標の設定

クラブは、次年度の募金目標を立て、5月初旬にその目標を地区に知らせます。地区ロータリー財団委員会は、ガバナー・エレクトおよび資金推進小委員会委員長とともに、クラブが財団への参加と財政支援の目標を立て、その達成に向けて計画を立てるのを援助します。クラブ・ロータリー財団委員会を任命し、地区目標に組み込むことのできるクラブ財団目標を設定するよう、全クラブに求めてください。個々のクラブの募金目標は、まとめられた後で管理委員会に提出され、RI国際大会で発表されます。

地区目標を立てる際には、3年後に地区がどのような活動をしたいかを考慮に入れてください。例えば、地区が3年後に、職業研修チームを派遣し、人道的プロジェクトを実施し、ポリオ・プラス基金に寄付したいと考える場合には、これらの活動に十分な資金を集めることを次年度の目標に組み入れる必要があります。

また、地区の年度目標を立てる際には、未来の夢試験地区用の「地区活動計画の指標」からの抜粋をご参照ください。

ロータリー財団のリソース

ロータリアン用

ゾーンを担当している**ロータリー財団地域コーディネーター**（RRFC）は、計画の立案、推進、地区ロータリー財団セミナーの実施などの面で、地区ロータリー財団委員会にとって貴重なリソースとなります。また、プログラムへの参加や財政支援に関する地区目標を立てる際にも、RRFCは地区の力になってくれる存在です。RRFCは、ロータリー研究会の前に開かれるガバナー・エレクト研修セミナーの研修チームの一員であり、財団に関連する事柄について委員会に貴重なアドバイスをしてくれます。地区ロータリー財団委員会は、RRFCと密に連絡を取り合うよう奨励されています。

ロータリー財団地域コーディネーター補佐（RRFC補佐）は、募金、補助金、プログラムへの参加などについてクラブと地区を援助するRRFCチームの一員です。

ロータリー財団学友コーディネーター（RFAC）は、学友がロータリーに積極的にかかわり続けていくよう、地区の活動を促進、支援します。RFACは、ロータリー財団学友に関するロータリアンの認識を高めるとともに、クラブと地区の奉仕プロジェクトや活動の人材として、また、ロータリー財団活動の提唱者、ロータリー・クラブの会員候補者としての学友の存在を推進します。また、地区会員増強委員会とも密接に協力します。

ロータリー財団の学友は、クラブや地区の行事における卓話者や講演者としても優れています。RFACは、RRFCとの協力の下、学友行事や奨学生のオリエンテーションを実施したり、学友会を設立したりします。

ゾーン・チャレンジ・コーディネーターは、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」への募金を促進するために、RRFC、RRFC補佐、地区指導者、ロータリー財団職員の間の連絡を担当します。また、地区とクラブにおける募金活動を推進し、「チャレンジ」のための大口寄付を開拓します。

Rotary.org

RIのウェブサイト（www.rotary.org）には、ロータリーの最新情報が掲載されています。毎週、新しいニュース記事が掲載され、未来の夢に関する最新情報も頻繁に更新されます。財団関連の出版物の大半は、ウェブサイトからダウンロードすることができます。

会員アクセス

「会員アクセス」を通じて、ロータリアンは、国際ロータリーとロータリー財団でのそれぞれの役割に応じたオンラインのサービスを利用することができます。地区の寄付報告書は、地区ロータリー財団委員長と資金推進小委員会委員長にアクセス権が与えられています。クラブと地区の役員が寄付情報を見るには、この機能にアクセスするためにRIに登録する必要があります。すべてのロータリアンは、登録すれば、自分の寄付と認証の履歴を見たり、連絡先を変更したりすることができます。

試験地区は、「会員アクセス」を通じて、オンラインで地区の資格認定手続き、補助金の申請、補助金報告書の提出を行います。資格認定手続きと申請方法を解説したチュートリアルは、ロータリーEラーニング・センターからご覧いただけます。

お忘れなく

RIウェブサイトの使い方と内容の説明は、ロータリーEラーニング・センターにあるモジュールをご参照ください。

RIの出版物とビデオ

RIでは、ロータリー財団に関するさまざまな出版物やビデオを用意しています。DVDは1枚15米ドルですが、ほとんどの出版物は無料となっています（注文数に制限があります）。募金行事や研修セミナーなど、ロータリー財団関連の行事での配布用に、各種出版物をご注文ください。多くの資料はRIカタログに掲載されているほか、ウェブサイトのshop.rotary.orgからオンラインでのご注文も可能です。未来の夢関連の全資料は、www.rotary.org/ja/fvdistrictからダウンロードすることができます。

お忘れなく

国際ロータリーとロータリー財団の年次報告書（187-JA）は、12月に発行されます。

出版物一般

- ロータリー財団携帯用カード（159-JA）
- ロータリー財団申請手続早見用手引き（219-JA）
- 地区委員会の手引き（249-JA）
- 未来の夢試験段階のニュースレター

目標に向けた年度計画を立てる際に、次のページの年間予定表をご参照ください。

2010-11年度 ロータリー財団に関連する重要な期日	
2010年7月	
1日	2010-11年度ロータリー平和フェローシップ申請書の財団への提出締切日
8月	
20日	財団の奉仕賞に関する情報が全地区にEメールで送付される
9月	
15日	2009-10年度の最終寄付報告書が地区に送付される
	ベネファクター報告書が資金推進小委員会委員長に送付される
10月	
15日	前年度の寄付上位3位クラブ認証バナーが地区ガバナーに送付される
25〜29日	管理委員会会合
11月　ロータリー財団月間	
	全クラブは、11月中に少なくとも1度、ロータリー財団を例会の話題として取り上げる
15日	ロータリー平和フェローシップ申請書式が入手可能になる
	学友人道奉仕世界賞と特別功労賞の推薦書の財団への提出締切日
	2011-12年度募金目標の設定について、全クラブに資料が送付される
12月	
31日	地区ロータリー財団委員会の任命を財団に報告する締切日
2011年1月	
15〜16日	管理委員会会合
17〜24日	国際協議会
2月	
PETSでクラブの2011-12年度年次寄付目標を設定（PETSは3月か4月の開催も可）	
4月	
11〜15日	管理委員会会合
5月	
1日	寄付増進クラブ目標報告書式を地区ガバナー・エレクトに送付
15日	新地区補助金申請書の提出最終日
	功労表彰状推薦書の提出締切日
	ガバナー・エレクトが寄付増進クラブ目標を財団に提出する締切日
21〜25日	2011年RI国際大会（米国ルイジアナ州ニューオーリンズ）
26、27日	管理委員会会合（本会合による方針への変更についてはwww.rotary.orgをご確認ください）
6月	
30日	ロータリー年度最終日

ロータリー財団委員長

3

役割と責務

地区ロータリー財団委員会が活動を効果的に行っていくには、リーダーシップの継続を図る必要があります。このため、地区ロータリー財団委員長は、3年任期で任命され、正当な理由があれば解任されるものとされています。

地区ガバナーの指揮の下、地区ロータリー財団委員長は委員会と協力し、地区のすべての財団活動を計画、調整、評価します。具体的な責務は以下の通りです。

- クラブと地区の資格認定状況など、地区の財団面でのあらゆる活動について、毎月、地区ガバナーに報告する。
- 全小委員会を監督し、その職権上の委員を務める。
- ガバナー・エレクトが次年度の財団地区目標を設定する前に、地区内ロータリアンの考えや意見を把握するのを助ける。
- 地区ロータリー財団委員会の決定を反映させたDDF（地区財団活動資金）の使用を許可する署名人となる（署名人は計2名。もう1名は地区ガバナー）。
- ロータリー財団の活動がほかの地区委員会に適切に組み込まれるよう、ガバナーならびにほかの委員長と協力する。
- 地区ガバナー、地区研修リーダー、地区研修委員会と協力し、地区セミナー、補助金管理セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナー（PETS）の議事日程と内容に重点を置いて、その計画、実施、推進を行う。
- 地区が資格要件を満たし、「地区の覚書（MOU）」に記載された要件を守るよう監督する。
- グローバル補助金申請書に不備がないことや、申請するクラブが受領資格を満たしていることを確認する。
- 新地区補助金の代表連絡担当者となる。
- クラブ・ロータリー財団委員会に支援を提供する。
- 地区ロータリー財団賞の受賞資格を満たす候補者を推薦するため、ガバナーを助ける。

地区役員との協力

地区ロータリー財団委員長は、地区ガバナーおよび各種地区委員会の委員長と密接に協力します。地区ロータリー財団委員長が、委員やほかの地区委員会と協力して、地区ガバナーの描いた財団目標とビジョンに向けて取り組みます。委員長は、地区目標に向けた活動の進捗とDDFの使用状況について、毎月、ガバナーに報告を行います。地区ガバナーと地区ロータリー財団委員長の両者は、DDFの使用にあたって署名をします。この署名は、委員会の決定を代表して行われるものです。ガバナー補佐は、クラブのニーズをよく知り、クラブのための財団研修に関して援助できる人材です。

未来の夢計画における地区ロータリー財団委員会の構成の変更に伴い、ほかの地区委員会にも、それぞれの担当分野に基づいて財団関連の責務が割り当てられています。地区ロータリー財団委員長は、これらの各委員会と密接に協力します。

世界各地から

財団学友に関する事項について地区会員増強委員会とどのように協力するかを決めましょう。地区ロータリー財団委員会の下に学友小委員会を設置している地区もあります。

お忘れなく

参加者にセミナーに備えてもらう方法のひとつとして、研修の前に、特定のEラーニング・モジュールに目を通してきてもらうこともできます。

お忘れなく

出席義務のある研修が追加されたことによる負担を和らげるため、補助金管理セミナーを、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区協議会、地区大会、地区ロータリー財団セミナーなどの直後に開催することをお勧めします。

地区大会委員会

全クラブが出席できる地区会合で財団活動に関する報告をしなかった（または報告をする予定がない）場合は、その報告を地区大会の議題に組み入れます。

財務委員会

地区財務委員長と協力して補助金資金を配分し、報告書の作成に備えて補助金活動の適切な記録や文書を保管します。

会員増強委員会

地区全域のロータリー財団と国際ロータリーの学友活動の調整を図り、入会候補者としての学友勧誘を支援するとともに、学友のロータリーへの参加を促進します。また、地区の学友リストを作成するか、ロータリー財団から学友リストを入手し、財団プログラムに参加した経験を持つ学友を、クラブと地区の会合の卓話者や講演者として招きます。

広報委員会

ロータリー財団活動のさまざまな側面（ポリオ・プラス、補助金活動の成功、学友の活動、地区やロータリーの賞や表彰）について広報します。

RI国際大会推進委員会

ロータリー財団に関連するすべての大会前・大会中の活動を推進します。

研修委員会

補助金管理セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナー（PETS）などの地区セミナーを計画、組織、推進します。また、地区ガバナーとともに、セミナーの内容および講演者と進行役を決定します。

地区セミナー

地区ロータリー財団委員長は、以下に挙げられたセミナーの計画において指揮を執ります。さらに、委員長と委員は、講演者や進行役としても参加します。

補助金管理セミナー

地区ロータリー財団委員長は、補助金管理セミナーを監督します。グローバル補助金資金の受領資格を得たいと望むクラブは、このセミナーへの出席が義務づけられています。セミナーは、財団補助金の受領資格についてクラブが理解し、適切な資金管理が行えるようにすることを目的としています。委員長は、クラブの資格認定手続きの一環として、このセミナーへの出席を記録する必要があります。セッションの手引きとスライドは、「補助金管理セミナー指導者用手引き」をご参照ください。

会長エレクト研修セミナー（PETS）

地区研修委員会とともに、クラブ会長エレクトが以下を行えるよう、研修を提供してください。

- 目標を設定し、5月初旬までに財団に報告する
- 財団を支援しようというロータリアンの意欲を喚起する
- 以下を行う時間的余裕が持てるよう、早めにクラブに連絡を行う
  - 地区協議会に先立ち、クラブ・ロータリー財団委員長を任命する。
  - 次年度の目標を達成するための行動計画を立てる。

PETSの指導者は、「会長エレクト研修セミナー指導者用手引き」未来の夢に関する補遺のセッションの手引きとスライドをご参照ください。

地区協議会

地区研修リーダーが地区内クラブのニーズに合うようRIのカリキュラムを修正するのを、援助します。さらに、クラブ・ロータリー財団委員会の任命状況を確認し、クラブ財団委員会のための計画セッションの実施において、ガバナー・エレクトを援助します。地区協議会の指導者は、「地区協議会指導者用手引き」未来の夢に関する補遺のセッションの手引きとスライドをご参照ください。

地区ロータリー財団セミナー

11月15日までに、クラブ指導者を対象に地区ロータリー財団セミナーを少なくとも1回開催してください。地区ロータリー財団セミナーの計画には、地区の財団小委員会委員にも参加してもらいます。また、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）が、効果的なセミナーの計画にあたって援助してくれるでしょう。セミナーの指導者は、試験地区用の「地区ロータリー財団セミナーの手引き」のセッションの手引きとスライドをご参照ください。

世界各地から

インドの試験地区は、異なる「クラブの覚書」と「地区の覚書」および手続きを採用しています。インドの地区と協力する計画を立てている地区は、これらの資料　を読んでおくようにしてください。

地区の資格認定とロータリー財団補助金

未来の夢試験段階に参加する地区は、ロータリー財団の補助金資金を管理しなければなりません。この責務に備え、新地区補助金とグローバル補助金の受領資格を得るために、まず地区は「会員アクセス」を通じてオンラインの資格認定手続きを完了する必要があります。会員アクセスの資格認定のページで、地区は「地区の覚書（MOU）」を読み、その順守に同意した上で、地区の補助金口座の署名人に関する情報を入力し、年次財務調査の方法を選択します。地区は、「覚書」の項目をすべて実行する前に資格認定を受けることができますが、地区が補助金資金を受領する前に、「覚書」の項目をすべて実行しておかなければなりません。「地区の覚書」には、具体的な要件がすべて挙げられています。これらの要件は、地区が適切な資金管理と補助金管理のシステムを整えることを目的としています。

地区ロータリー財団委員長は、地区の資格認定手続きを監督し、「地区の覚書」の項目が順守されていることを確認する責務があります。委員長は、新地区補助金の代表連絡担当者としての役目を果たすとともに、グローバル補助金申請書を財団に提出する前に、これを承認します。承認を経ることで、委員長がDDFの申請状況を随時確認できる一方、財団は、グローバル補助金を申請するクラブが資格を満たしていることを確認できます。

地区の受領資格は、毎年、再承認が行われる必要があります。この資格の「再承認」の手続きでは、地区ガバナー、ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長（新しく就任した場合）が会員アクセスから未来の夢試験地区のページにアクセスし、パート2とパート3が正しいことを確認した上で、資格認定手続きのパート1とパート4に同意します。7月31日までにこの再承認手続きを完了すれば、地区の資格を引き続き維持することができます。さらに地区は、毎年、地区内クラブの資格認定も行う必要があります。

お忘れなく

ロータリーEラーニング・センターで、「会員アクセス」を通じての資格認定手続き、補助金の申請、報告書の提出方法についてご覧ください。

お忘れなく

クラブと地区への補助金資金の配分に関する地区方針が守られるようにするのは、補助金小委員会の責務です。

新地区補助金に関する責務

- 新地区補助金の機会と要件について、クラブからの問い合わせに答える。
- 新地区補助金の機会と、地区の締切日について伝える。
- 代表連絡担当者となる。
- 財務委員会と協力して補助金資金をクラブに支給する。
- 新地区補助金の使用額を記録、管理し、未使用の補助金資金をDDFに返還する。
- 地区大会においてDDFの使用状況を報告する。

地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長、地区補助金小委員会委員長は、新地区補助金の使用計画書に情報を入力することができます。これら3名のロータリアンすべてが、財団に提出する前に（会員アクセスを通じて）オンラインで補助金を承認する必要があります。以下の表は、承認されたポルトガルの第1970地区の新地区補助金の見本です。

新地区補助金　使用計画（見本）

クラブ／地区（第1970地区）	プロジェクトの内容	活動の種類	予算（米ドル）
Coimbra	麻薬常習者更正施設であるACERCの設備を寄贈することにより、入所者の生活環境を改善。	地域社会の発展、一般	413
Coimbra-Olivais	危機下の子供や青少年を支援するため、Casa de Infância児童養護施設の研修室に視聴覚機材と家具を寄贈。	地域社会の発展、一般	519
Oliveira de Azeméis	養護学校にスポーツ用品を寄贈し、子供たちがスポーツやほかの生徒たちとの交流を通じて学べる機会を提供。	地域社会の発展、一般	3,062
Viana do Castelo	Viana do Castelo病院に音波検査機を寄贈し、正確な乳がん診断と早期治療を促す。	保健、医療設備	13,014
Senhora da Hora	PadroenseスポーツセンターにAEDを寄贈し、地域社会の人々に役立ててもらう。	保健、医療設備	1,171
Coimbra Santa Clara	家庭内暴力の被害者である女性たちを支援するFundação Esperança Vivaセンターに視聴覚設備を寄贈。	地域社会の発展、一般	518
Valongo	ボランティアの消防団、「Bombeiros Voluntários de Valongo」にAEDを寄贈し、地域社会の人々の命を救う。	保健、医療設備	1,404
Penafiel	ボランティアの消防団、「Penafiel and Entre-os-Rios」の救急車2台に、AEDを備え付け、地域社会の人々の命を救う。	保健、医療設備	3,068

グローバル補助金に関する責務

- グローバル補助金申請書に署名することで、クラブが受領資格を満たしていることを証明する。
- グローバル補助金に利用できるDDF額を随時確認する。

クラブ・ロータリー財団委員会への支援

地区ロータリー財団委員長は、地区内すべてのクラブがロータリー財団委員会を設置し、適切な研修を行うよう奨励する責務があります。

ロータリー財団に対する認識を高めるため、クラブ・ロータリー財団委員会に以下を提案してみましょう。

- 補助金管理セミナーに出席するようクラブ会員に呼びかける。
- 少なくとも四半期に1度、財団の話題を取り上げたクラブ例会を開く。
- クラブ会報を利用し、会員に財団の活動やクラブと地区の目標の達成状況について知らせる。
- クラブと地区の広報委員会と協力し、ニュースの話題となるような財団関連の活動について地元のマスコミに知らせる。
- 財団学友をクラブ例会に招き、卓話をしてもらう。
- 募金と財団推進を目的する地域社会のイベントを計画する。
- 卓越した奉仕を行ったロータリアン、ロータリー財団に対する顕著な貢献をしたロータリアンや他の人々を、クラブ例会やマスコミを通じて紹介または表彰する。
- ロータリー平和フェローの候補者を探すよう、クラブに呼びかける。

ロータリアンのための奉仕賞

ロータリー財団が高く評価され、世界理解と平和を目指す運動のリーダー的存在となるまで成長したのは、世界中のロータリアンによる活動と努力のおかげです。財団管理委員会は、財団の発展に寄与したロータリアンを称えるため、各種奉仕賞を創設しました。ロータリー財団に関連する活動に積極的に取り組んでいるロータリアンは、以下のいずれかの賞の候補者となる資格を有する可能性があります。地区ロータリー財団委員長は、資格のある候補者を推薦するため、地区ガバナーを援助します。

- ロータリー財団地区奉仕賞
- ロータリー財団功労表彰状
- ロータリー財団特別功労賞
- ポリオのない世界を目指す奉仕賞
- ポリオのない世界を目指す国際奉仕賞
- ポリオのない世界を目指す地域奉仕賞
- 学友人道奉仕世界賞

補助金小委員会

4

補助金小委員会の責務は、新地区補助金およびグローバル補助金の実施と、ロータリー平和センターへの参加を推進し、奨励することです。さらに委員会は、国際奉仕や教育的、職業的活動に参加する方法について、クラブの力になります。

役割と責務

地区ロータリー財団委員長の指揮の下、地区補助金小委員会は、地区における財団補助金の管理と監督にあたります。具体的な責務は以下の通りです。

- 地区内で、ロータリー財団の補助金に関する情報源となる。
- 新地区補助金およびグローバル補助金の条件を順守、実行するとともに、これらの条件についてクラブを指導する。
- クラブと地区への補助金資金の配分についてまとめた地区方針を作り、これが順守されるようにする。
- DDF（地区財団活動資金）の配分について意見や助言を提供する。
- クラブが補助金の参加資格を取得できるよう監督する。
- 全補助金についてロータリー財団に報告を行うことを含め、クラブと地区が提唱した補助金について適切な資金管理が行われるよう確認する。
- 補助金関連の活動で、資金乱用や不正行為が疑われる場合はそれを財団に報告し、資金乱用の報告を受けた場合にまず地元での調査を行う。

ロータリー財団の補助金

未来の夢計画の下では、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類が支給されます。

新地区補助金は、クラブと地区が、ロータリー財団の使命を支え、特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むことを可能にするもので、地区は、DDF（地区財団活動資金）の50パーセントまでを、毎年、一口の補助金として使うことができます。この補助金は、複数の個々のプロジェクトや活動を支援するために活用することが可能です。ポリオ・プラスを支援したり、より規模の大きいグローバル補助金に参加するために、この使用を50パーセントよりも少なくしてもかまいません。

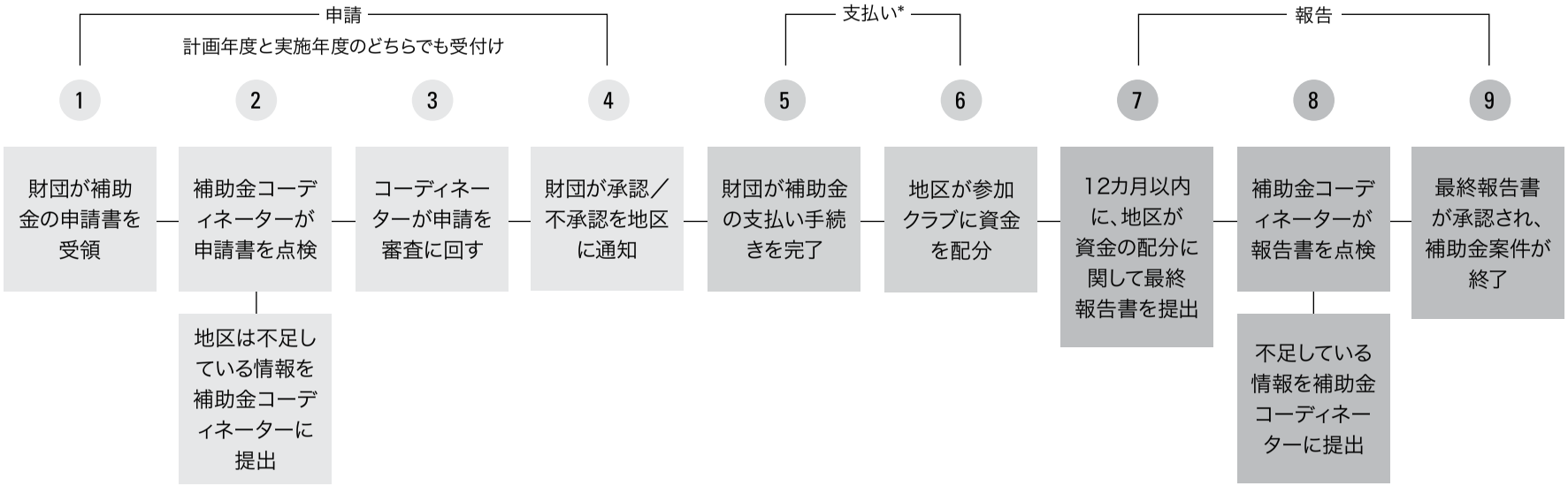
これらの補助金は、地区によって管理されます。クラブがプロジェクトの資金を地区に要請し、地区が、財団に申請する新地区補助金の金額を決定します。地区は、プロジェクトを実施する前の年度に計画を立てるよう奨励されています。新地区補助金の申請書は、プロジェクトの計画年度または実施年度に提出できます。新地区補助金申請書の提出締切日は、実施年度の5月15日です。補助金の支払い、使用、報告は、実施年度中に行ってください。補助金の受領後、地区がクラブに資金を支給します。

お忘れなく

グローバル補助金に関する詳細は、Eラーニングのモジュール、「ロータリー財団の補助金を選ぶ」をご参照ください。

未来の夢計画
新地区補助金の業務サイクル

申請書を提出できるのは資格を満たした地区のみとなります



* 支払いに必要な情報の提出締切日は実施年度の5月15日です。地区が1度に管理できる新地区補助金は1口のみです。
新しい新地区補助金の支払いが行われる前に、以前の補助金が終了していなければなりません。

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する重点分野において、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトや活動に資金を提供します。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。また、協同組織と合同でロータリー財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージグラントを利用することもできます。

クラブまたは地区が立案したグローバル補助金では、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、WF（国際財団活動資金）から最低15,000米ドルが授与されます。DDF（地区財団活動資金）に対しては100パーセント、現金拠出に対しては50パーセントが、WFから組み合わせて支給されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。実施国、援助国の双方の提唱者は、未来の夢試験段階に参加する地区（またはその地区内のクラブ）である必要があります。

お忘れなく

重点分野に関するEラーニング・モジュールは、ロータリーEラーニング・センターをご覧ください。

グローバル補助金の申請書を提出する前に、提唱者であるロータリアンは、活動内容と期待される成果を記述した提案書を、ロータリー財団に提出する必要があります。提案書が受理された後、クラブまたは地区は、6カ月以内にオンラインで申請書を提出することとなります。申請書を財団に提出する前に、地区ロータリー財団委員会が「会員アクセス」を通じて申請書を承認します。

グローバル補助金のパッケージ・グラントは、WF（国際財団活動資金）および協力組織からの資金のみによって資金が調達され、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施に当たります。パッケージ・グラントが利用が可能となり次第、ロータリアンは、「会員アクセス」でパッケージ・グラントのオプションを検索できるようになります。

補助金資金に関する地区の方針

未来の夢計画の下、地区は、新地区補助金とグローバル補助金に使用するDDFの金額を決定する必要があります。その後、地区は、どの活動に資金を配分するかを決定します。ロータリー財団補助金活動への参加を奨励するため、地区が明確な方針を備え、それをクラブに伝えることが重要です。また、地区の方針がクラブに伝えられたかどうかを確認するのは、補助金小委員会の責務です。

お忘れなく

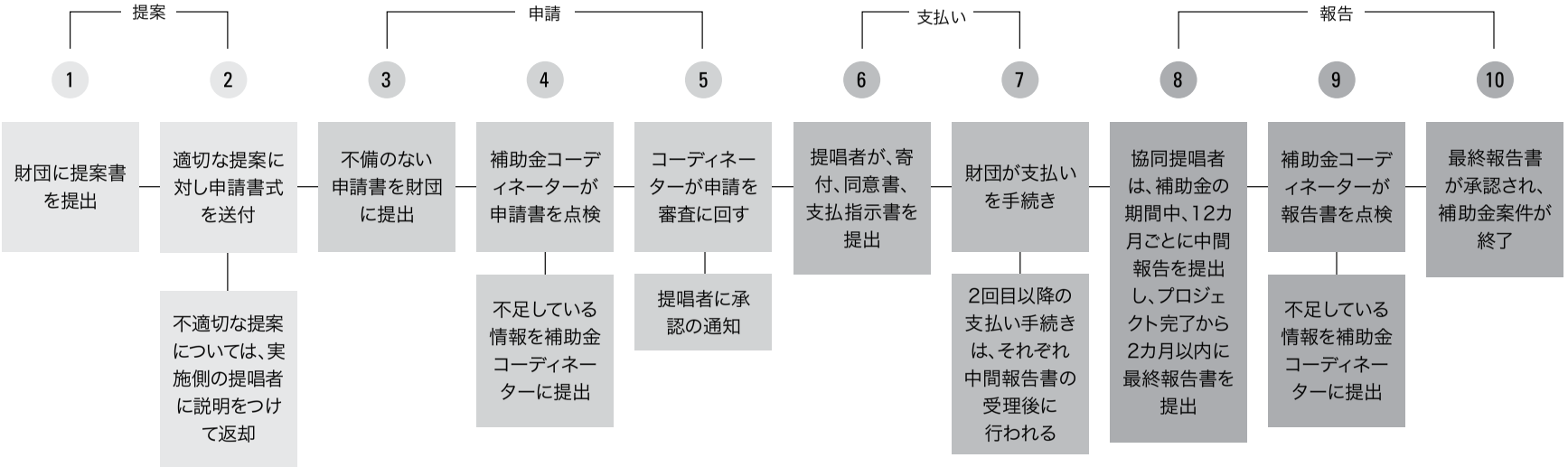
グローバル補助金ではさまざまな活動を支援できますが、「ロータリー財団補助金授与と受諾の条件」に定められた要件に従わなければなりません。

クラブの受領資格と資金管理

地区の参加資格の一要素として、地区ロータリー財団委員長と密接に協力しながら、地区内クラブの資格認定プロセスを管理することがあります。これには、グローバル補助金の申請に関心のあるクラブを対象とした補助金管理セミナーを1回以上開くことが含まれています。詳細は第3章をご覧ください。

未来の夢計画
グローバル補助金の業務サイクル

資格を満たしたクラブと地区のみが提案書を提出できます



小委員会は、「クラブの覚書（MOU）」に記載された資金管理と財務慣行をクラブが実施するにあたり、援助します。資金管理をさらに徹底させたり、地元の法律に従うために「クラブの覚書」に地区独自の要件を追加すべきかどうかを検討してください。このような追加要件はすべて、全クラブが満たすことができ、また地区が管理できる範囲内の妥当なものとすべきです。

地区独自のクラブへの追加要件には、以下のようなものが考えられます。

- クラブは、補助金の提案書を地区指導者に見せなければならない。
- すべての補助金について報告要件を順守しなければならない。
- クラブが新地区補助金の資金を受領するためには、資格認定を受けなければならない。

資格認定に関するこのほかの情報は、www.rotary.orgをご参照ください。

報告

補助金小委員会は、補助金受領者が、補助金資金の使途について財団に報告書を提出するよう確認する責務があります。中間報告書と最終報告書は、「会員アクセス」を通じてオンラインで提出します。これらの報告書が漏れなく入力されている場合、報告書が受理されます。未提出の報告書がある場合、財団が新規の補助金申請書を受理することはありません。

新地区補助金の場合、資金の支出について記載した最終報告書を、財団から補助金を受領してから12カ月以内、または補助金を全額支出してから2カ月以内に、財団に提出してください。新地区補助金からの資金を使用したプロジェクトと活動はすべて、クラブまたはプロジェクト実施地に資金が支給されてから24カ月以内に完了する必要があります。

グローバル補助金の場合、補助金の最初の支給を受けてから12カ月以内に、また、その後も12カ月ごとに、中間報告書を提出してください。最終報告書は、プロジェクトの完了後2カ月以内に提出してください。

お忘れなく

「会員アクセス」に登録し、グローバル補助金への申請、補助金の進捗状況の確認、寄付履歴の参照など、さまざまな機能を活用するよう、全ロータリアンに奨励しましょう。

ロータリー平和センター

ロータリー平和センター・プログラムは、未来の夢試験段階中も、これまでと同様に運営されます。補助金小委員会は、資格ある候補者を選出する手続きが地区に備わっているかどうかを確認する必要があります。このプログラムを推進し、地元地域で候補者探しを行うよう、クラブに呼びかけてください。

小委員会の構成

補助金小委員会の組織方法には、いくつかのオプションがあります。例えば、小委員会の委員を新地区補助金担当とグローバル補助金担当に分けたり、委員の責務として財務管理、補助金審査、資金管理、奨学金、ロータリー平和センターなどを割り当てることができます。地区の関心分野やニーズを検討した上で、補助金小委員会をどのように組織するのが地区にとって最もふさわしいかを判断してください。

補助金に関するリソース

未来の夢に関する資料は、RIウェブサイト（www.rotary.org/ja/fvdistrict）からご参照いただけます。

- 新地区補助金ベストプラクティスとアドバイス
- 未来の夢計画に関するプレゼンテーション
- グローバル補助金の概要
- 補助金管理セミナー指導者用手引き
- 覚書（MOU）に関する指針
- 授与と受諾の条件ロータリー財団 新地区補助金およびグローバル補助金
- ロータリーのEラーニング・センター

ポリオ・プラス小委員会

5

ロータリーは、ポリオの撲滅を最優先活動としており、管理委員会は、各地区に対し、地区ロータリー財団委員会の下にポリオ・プラス小委員会を任命するよう要請しています。また、管理委員会とRI理事会は、各ロータリー・クラブに対し、地区ポリオ・プラス小委員会と同様、クラブのポリオ・プラス委員会を任命するよう奨励しています。このような構成により、幅広いロータリアンがポリオ・プラス活動にさらに積極的に参加するようになることを、管理委員会は期待しています。

地区ポリオ・プラス小委員会の責務は、ポリオ撲滅へのロータリーの取り組みを支援し、ポリオ・プラス活動に参加するよう全ロータリアンに奨励することです。地区内にポリオ感染者が出ているかいないか、あるいは地区や国がポリオ撲滅のどの段階にあるかによって、この小委員会の活動の焦点は異なります。

役割と責務

地区ロータリー財団委員長の指揮の下、地区ポリオ・プラス小委員会は、財団のポリオ撲滅活動についてロータリアンや地元地域の人々の啓蒙を行うとともに、撲滅のための募金活動を実施します。具体的な責務は以下の通りです。

- ロータリアン、クラブ、地区からポリオ・プラスへの寄付やDDFの寄贈を奨励する。
- 少なくとも年に一度、ポリオ・プラスの地区活動を実施する。
- 地区ロータリー財団委員長、地区広報委員会、地区ガバナーと協力して、ポリオ撲滅のためのクラブと地区の模範的な活動を適切な方法で表彰する。
- 地区ガバナーと地区研修リーダーが、地区会合のロータリー財団研修の一部として、ポリオ・プラスの発表を行うのを助ける。
- 国または地域のポリオ・プラス委員会、地元の政府、その他の組織と協力して、ポリオ撲滅活動を実施する。

推進と教育

ポリオ撲滅の最終局面を向かえた現在、重要なのは、この小委員会が引き続きロータリアンと地元一般市民に対して、撲滅におけるロータリーの役割について啓蒙活動を行っていくことです。ポリオ撲滅の世界的証明を実現することの大切さを人々に伝えるための活動を計画しましょう。

さらに、地区内のロータリアンに対し、ポリオ・プラス基金が、最も効果的かつ直接的な方法（主に全国予防接種日のための市民の動員と運営の費用や監視（サーベイランス）活動の費用）でポリオ撲滅のために活用されていることを、ぜひ伝えてください。

ポリオ・プラス補助金は、感染者が出ている国の政府や、プログラムの協同団体（世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センターなど）との協力の下で支給されます。補助金申請書を提出できるのは、これら協同団体もしくは全国ポリオ・プラス委員会に限られています。ポリオ・プラス補助金の申請書は、国際ポリオ・プラス委員会によって審査された後、管理委員会の定例会合で承認が行われます。詳細は、日本ポリオ・プラス委員長までお問い合わせください。

上記のほかにも、以下のような活動をご検討ください。

- 地元のメディアと協力し、募金活動やイベントの話題、元ポリオ患者に関する話題を人々に伝えてもらう。
- 世界のポリオ感染数の最新データをクラブに送る。
- クラブ会員に全国予防接種日に関する情報を伝え、参加を奨励する。
- クラブのポリオ・プラス委員会を任命するよう、クラブ会長に奨励する。

募金

「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」のため、新しい会員、新しいクラブ、地域社会の人々からの財政的支援を呼びかけるよう、管理委員会は要請しています。地区ロータリー財団委員会全体で、ポリオ・プラスの支援のためにDDFの20パーセントを寄贈する可能性について検討してください。

小委員会の構成

ポリオ・プラス小委員会は、国におけるポリオの状況や地区内のロータリアンの関心度に応じた構成で組織することができます。ポリオ・プラス小委員会の焦点を、ポリオ撲滅に向けたロータリーの活動の推進に絞り、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」に対する寄付推進は資金推進小委員会に任せている地区もあります。

この小委員会は、募金活動や寄付を推進するにあたり、資金推進小委員会と密接に協力する必要があります。

ポリオ・プラスに関するリソース

ポリオ・プラス／ロータリーの2億ドルのチャレンジ

- ロータリーの2億ドルのチャレンジ・パンフレット（986）
- ポリオ・プラス・ヘッドライナー・キット
- ロータリーの2億ドルのチャレンジDVD（985）
- 「End Polio Now」襟ピン（988）
- 「End Polio Now」ポップアップボックス（989）
- ロータリーの2億ドルのチャレンジ・ポスター（987）
- Rotary: Humanity in Motion III: “Best of” Collection PSAs（人類のために活動すします III：ベスト・コレクション）（608）
- 「End Polio Now（今こそポリオ撲滅のとき）」ニュースレター

以下の補足情報は、RI世界本部のポリオ・プラス担当部からお取り寄せいただけます。

- ポリオ・プラスに関する概要資料
- ポリオ・プラスに関する最新の統計

資金推進小委員会

6

ロータリー財団の活動は、ロータリアンとロータリー支援者の方々からの財政的支援があってこそ、可能となります。資金推進小委員会の責務は、地区の募金活動の方策を監督し、クラブが年次プログラム基金と恒久基金への寄付目標を設定してこれを達成できるよう支援することです。

役割と責務

地区ロータリー財団委員長の指揮の下、地区資金推進小委員会は、地区における財団の資金推進（募金）の管理と監督にあたります。具体的な責務は以下の通りです。

- 募金目標の設定と目標を達成するための方策について、クラブに助言と支援を提供する。
- クラブと地区の募金活動を実施する。
- ロータリー財団のあらゆる募金活動に関して、クラブに助言を与え、クラブの意欲を高め、活動を推進する。
- 認証が適切に行われるよう、地区で寄付者認証行事を実施する。
- DDFの配分について意見や助言を提供する。

募金の目標

地区ガバナー・エレクトは、PETSでクラブの募金目標書式を集め、それを5月15日までにロータリー財団に送付します。クラブは、年次プログラム基金、ロータリーの2億ドルのチャレンジ、恒久基金のための各目標を設定するよう求められています。ガバナー・エレクトと地区ロータリー財団委員会は、クラブ目標を立てる際にクラブに協力します。

まずは、クラブが3年後にDDFをどのように使いたいかを尋ね、プログラムへの参加目標を基に、クラブの募金目標を決定するとよいでしょう。例えば、地区が、2013-14年度にクラブのために新地区補助金として5万米ドルを確保したいと考える場合には、2011-12年度に年次プログラムに少なくとも20万米ドルを寄付する必要があることになります。

地区の募金の年度目標は、ロータリー財団に提出されたクラブ目標をまとめたものとなります。

日付*	目標の達成度
9月30日	20%
11月30日	33%
12月31日	50%
3月31日	67%
6月30日	100%
*ロータリー年度に基づく（7月1日～6月30日）	

地区が検討すべき目標：

- 一人あたり平均100米ドル。地区が既に一人あたり平均100米ドルの目標を達成している場合は、その額をさらに増やす。地区が一人あたり100米ドルに達していない場合は、100ドルの目標を達成できる方法を考える。
- すべてのロータリアンに、「財団の友」会員、ベネファクター、遺贈友の会会員となるよう奨励する。
- ロータリーの2億ドルのチャレンジを支援するため、一般の人々を対象とする募金活動を計画するようクラブに奨励する。
- ポール・ハリス・フェローになるようロータリアンに求め、また、ほかの人をポール・ハリス・フェローに指定するよう奨励する。
- 25,000米ドル以上を寄付できる見込みのある人に財団の活動を紹介し、寄付を懇請する。
- ポール・ハリス・ソサエティの会員となるよう奨励する。
- クラブと地区の指導者に、財団に寄付を行うことで模範を示すよう求める。

地区の目標は、金額として設定することも、ほかの方法で設定することも可能です。例えば、

- 100%のクラブの参加
- 新しい大口寄付者の数
- 新しいベネファクターの数
- 遺贈友の会の新会員の数

募金推進計画

ロータリー財団では、4つの主な募金キャンペーンを行っています。各キャンペーンはそれぞれ異なっており、寄付者の関心に基づいて、推進の対象を区別する必要があります。

基金／プログラム	目的	目標	完了日
ポリオ・プラス基金	ポリオ撲滅のための資金調達	2億米ドル	2012年6月30日
年次プログラム基金	毎年のプログラムのための資金調達	未定 (2010年6月)	2011年6月30日
恒久基金	投資収入による恒久的かつ定期的な資金調達	10億米ドル	2025年
ロータリー平和センター	ロータリー平和フェローを支援するための資金調達	9,500万米ドル	2015年

ロータリー財団は、資金調達のアプローチが、各国の文化や慣習にふさわしいものでなければならないことを認識しています。寄付や制約の種類に関する以下の記載事項は、必要に応じて、地元の風習や文化にふさわしい形に修正してください。ロータリー財団を代表して寄付を推進する場合、直接顔を合わせて行うのが最も効果的であるとされています。ロータリアンは財団のいわば「株主」であるため、全員にプログラムと活動を支援する機会を提供することが大切です。

寄付と誓約の種類

使途指定寄付

特定のロータリー財団基金やプログラムに寄付を指定する寄付者もいます（ポリオ・プラス基金など）。このような寄付は、「使途指定寄付」と呼ばれています。使途指定寄付の場合、寄付者が、恒久基金を寄付先に指定した上で、その使用可能な部分をシェアを通じて使用することを具体的に指示しない限り、DDF（地区財団活動資金）を生み出すことはありません。寄付が恒久基金に指定された場合、収益のうち使用可能な部分のみが、プログラムのために使用されます。このような使用方針により、恒久基金の実価（インフレ調整済み）を恒久的に維持することが可能となります。

期間限定寄付と寄付基金の機会

期間限定寄付とは、授与年度のシェア所要額を使用し、1回のみの全額寄付で行われるものです。期間限定寄付は、個人もしくは企業や法人財団が寄付者となり、寄付者名または寄付者が選んだそのほかの名前を冠することができます。クラブと地区は、期間限定寄付を創設するために、共同積立寄付を行うことができますが、その場合、個人の寄付者を認証の対象とすることはできません。

寄付基金は、25,000米ドル以上の寄付で設立されます。この寄付の元金は、一切使用されることはありません。（財団の方針に従って）使用可能な収益が発生し、十分な金額が蓄積された時点で、新規のグローバル補助金またはフェローシップが授与されます。

寄付基金は、ロータリー財団に長期的な安定をもたらすものです。基金は、グローバル補助金のため、またはロータリー平和センターのために設立することができます。

グローバル補助金のための基金を設立することで、寄付者は、いずれかの重点分野あるいは地区や地域における活動を支援し、自分の名前をその活動に残すことができます。例えば、250,000米ドルで「ジョーとジェーンのロータリアン基金」を設立し、第0001地区における疾病予防と治療のための活動を支援する、といった具合です。

さらに、財団では、ロータリー平和フェローを支援するため、フェロー1名につき100,000米ドル以上の大口寄付も求めています（ただし、金額を問わず、どのような寄付でもありがたく受け付けております）。また、ロータリー平和センターの資金のためのDDFの寄贈も、各地区に奨励されています。

グローバル補助金の冠名の機会

2010年6月現在（金額はすべて米ドルです）

- **25,000ドル**（最低）で、恒久基金内に基金を設立し、その収益をシェアシステムに指定するか、または管理委員会の決定に委ねることができます（WF）。この寄付は、寄付者の名前が冠され、個々の基金として管理されます。
- **100,000ドル**で、いずれかの重点分野に関連する基金を設立することができます。
- **250,000ドル**で、いずれかの重点分野に関連する基金を設立することができ、参加する地区を具体的に指定することができます。

- **500,000ドル**で、いずれかの重点分野に関連する基金を設立することができ、参加する地区と実施地を具体的に指定することができます。
- **1,000,000ドル**以上で、さらに具体的な条件を設定した個人の基金を設立することができます。例えば、ある重点分野における特定国の参加を支援したり、グローバル補助金活動への特定地区の参加を支援したりすることができます。

世界各地から

米国では、公開有価証券をはじめ、現金以外の方法（不動産など）による寄付に対して税金優遇措置が取られています。現金以外の方法による寄付（米国）について関心のある方は、寄付増進担当職員までお問い合わせください。

ロータリー平和センターの支援および冠名の機会

金額はすべて米ドルで表示されています。

基金

- **50,000ドル**で、プログラムを一般的に支援するための、寄付者の名前を冠した基金を設立することができます。
- **100,000ドル**で、ロータリー平和センターの年次セミナー1回を支援することができます。
- **250,000ドル**で、最高10人までの同期フェローの実地研修または研究プロジェクトを支援することができます。
- **500,000ドル**で、3〜4年ごとにフェローを1名支援することができます。
- **750,000ドル**で、隔年でフェローを1名支援することができます。
- **1,000,000ドル**で、コースで教え、フェローの個人指導をする客員講師1名の人件費を支援することができます。
- **1,500,000ドル**で、毎年フェローを1名支援することができます。

期間限定寄付

- **60,000ドル**で、最高2年間、冠名フェローを支援することができます。
- このほかの金額の期間限定寄付も可能です（承認が必要となります）。

基金の設立方法に関する詳細は、ロータリー財団の大口寄付日本担当職員までお問い合わせください。

世界各地から

日本、ヨーロッパ、RIBI、インド、韓国、台湾、マカオ、香港、南米の恒久基金地域委員長は、大口寄付者の特定、開拓、懇請等について研修を受けており、資金推進小委員会にとって優れたリソースとなる人材です。

追悼寄付

亡くなった愛する家族や友人、ロータリアンの仲間を偲ぶ追悼寄付です。

法人／財団寄付

それぞれの地区には、多くの企業や財団が存在します。法人や財団からの寄付を募ることで、地区の年次プログラム基金の目標が達成しやすくなります。法人・財団が支援できる方法として、チャレンジ補助金があります。この補助金は、一定の期間にクラブや地区が募金した寄付金に対し、法人や財団が同額（または一定の割合の金額）を上乗せするものです。

小額の寄付または上乗せ寄付の場合、財団は、クラブや地区が修正して活用できる見本の提案書を用意しています。多額の寄付の場合には、財団の寄付増進担当職員が、当該寄付者の関心に基づき、ロータリアンと一緒に提案書の作成のお手伝いをいたします。

法人・財団寄付は、年次プログラム基金、ポリオ・プラス基金、恒久基金に指定できます。このような寄付を法人や財団にお願いする前に、まずはロータリー財団にご相談ください。

遺贈：最もよく見られるタイプの計画寄付。寄付者の遺言や資産計画において財団を受益者として指定することにより、現金、有価証券、不動産などの形で行なわれる。

慈善寄付年金：1万ドル以上を一括で財団に寄付する交換条件として、寄付者が指定した1〜2名の受益者に対し、財団が毎年一定収入（年金）を提供することを保証するもの。寄付時に所得税が控除されるとともに、毎月支払われる年金の一部も税金の非対象となる。

共同インカムファンド：投資信託のように、現金や有価証券で最低5千ドルを財団の共同インカムファンドに寄付し、その配当金を生涯にわたって受け取るもの。寄付者は慈善寄付に対する税金控除が受けられるだけでなく、キャピタルゲイン税を免除され、遺産税を減らすことができる。

慈善残余権信託：受託者としてロータリー財団に最低10万ドル（現金や資産）を寄付し、財団がこれを個別に投資することにより、寄付者は不定額の収入（慈善信託）または一定額の収入（年金信託）として受け取る。これにより、含み損のある資産のキャピタルゲインを減らすとともに、寄付時に所得税の控除を受けることができる。

生命保険：寄付者が新規または既存の生命保険の所有権をロータリー財団に移譲したり、財団をその受益者として指定するもの。

世界各地から

北米では、多くの企業が、従業員による慈善寄付に対して上乗せ寄付をするプログラムを提供しています。また、退職した元従業員、非常勤役員、従業員の家族による寄付に対してもこのようなプログラムを実施している企業もあります。

世界各地から

ここに紹介されている慈善寄付の例は、米国の例に基づいています。寄付の種類や税金優遇制度は国によって異なるため、日本における寄付や税金の事情については、弁護士や金融専門家にご相談ください。

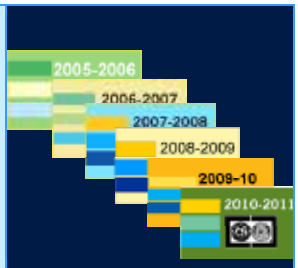
認証

ロータリー財団では、補助金やプログラムをご支援くださる個人やクラブからの現金寄付に対し、感謝を表すさまざまな機会を提供しています。以下の表は、各種認証をまとめたものです。2011年1月1日から有効となる大口寄付レベルへの変更にご注意ください。

個人を認証する機会

「財団の友」会員

「財団の友」会員とは、年次プログラム基金に毎年 100 米ドル以上を寄付する個人を指します。この寄付は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、大口寄付、クラブ認証にも適用されます。ロータリー・クラブの会長に連絡し、ロータリーの名札に付ける「財団の友」会員ステッカーを入手してください。



ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェローの認証は、現金寄付または累積額のいずれかの形で、年次プログラム基金、ポリオ・プラス、グローバル補助金に対し、1,000 米ドル以上を寄付した個人（またはその名義で寄付された個人）に感謝を表するために授与されます。認証は、認定状と襟ピンの贈呈をもって行われます。認証記念メダルもご購入いただけます。

感謝状

時に、寄付者が 1,000 米ドルを寄付することによって、企業や組織への感謝の意を表したいと希望する場合があります。この場合、ポール・ハリス・フェローの認証は個人のみを対象に行われるものであるため、その代わりとしてこれらの企業や組織に「感謝状」が贈られます。

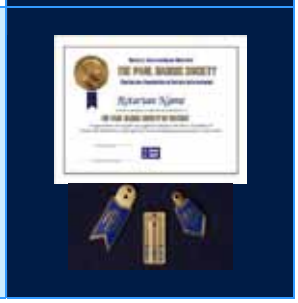
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証は、最初の 1,000 ドルの後に行われる寄付 1,000 ドルごとに（例：2,000 ドル、3,000 ドルなど）授与されます。認定は、寄付額のレベルに相当する宝石の付いた襟ピンの贈呈をもって行われます。

米貨 2,000～2,999.99 ドル—サファイア 1 個
3,000～3,999.99 ドル—サファイア 2 個
4,000～4,999.99 ドル—サファイア 3 個
5,000～5,999.99 ドル—サファイア 4 個
6,000～6,999.99 ドル—サファイア 5 個
7,000～7,999.99 ドル—ルビー1 個
8,000～8,999.99 ドル—ルビー2 個
9,000～9,999.99 ドル—ルビー3 個

ポール・ハリス・ソサエティ

ポール・ハリス・ソサエティは、年次プログラム基金、ポリオ・プラス、グローバル補助金に対し、個人的に毎年 1,000 米ドル以上を寄付する決意を表明した個人を認証するプログラムで、国（または地区）単位で管理されます。日本では、国単位ですべての認証を行っているため、質問などがある場合は RI 日本事務局財団室に問い合わせてください。ポール・ハリス・ソサエティへの寄付は、「財団の友」会員、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、大口寄付者の認証の対象となります。



個人を認証する機会（続き）

大口寄付者

ロータリー財団は、寄付の指定条件に関係なく個人的な寄付の累計が 10,000 米ドルに達した個人または夫婦を表彰します。大口寄付者には、寄付のレベルに基づき、記念のクリスタル製認証品および襟ピンが贈られます。

米貨 10,000～24,999.99 ドル—レベル 1
25,000～49,999.99 ドル—レベル 2
50,000～99,999.99 ドル—レベル 3
100,000～249,999.99 ドル—レベル 4

アーチ C. クランフ・ソサエティ

250,000 米ドル以上の寄付を行った寄付者は、米国イリノイ州エバンストンの国際ロータリー世界本部にあるアーチ C. クランフ・ギャラリーに肖像写真が飾られ、タッチスクリーン式案内版に略歴が紹介されます（ギャラリーでの展示を寄付者が希望しない場合はその意思が尊重されます）。寄付者には、特別な襟ピンと、国際ロータリー会長ならびにロータリー財団管理委員長の署名入りの認証状が授与され、また、RI 国際大会で行われるソサエティメンバーのための特別行事に招待されます。ソサエティの名称は、ロータリー財団創設者であるアーチ C. クランフを称えて名づけられました。

管理委員会サークル
250,000 米ドル～499,999.99 米ドル

管理委員長サークル
500,000 米ドル～999,999.99 米ドル

財団サークル
100 万米ドル以上

ベネファクター

ベネファクターとは、資産計画にロータリー財団を受益者として指定すると記したことを書面にてロータリー財団に通知するか、または恒久基金に 1,000 米ドル以上の現金寄付を行った人を指します。ベネファクターの認証は、認証状、およびロータリーの襟ピンとともに身につける記章の贈呈をもって行われます。

遺贈友の会

ロータリー財団は、資産計画において合計米貨 10,000ドル以上を誓約した個人または夫婦を認証しています。寄付者は、寄付のレベルに基づき、記念品として彫りこみの入ったクリスタル製認証品およびダイアモンド・サークル襟ピンを選択することができます。

米貨 10,000～24,999.99 ドル—レベル 1
25,000～49,999.99 ドル—レベル 2
50,000～99,999.99 ドル—レベル 3
100,000～249,999.99 ドル—レベル 4
250,000～499,999.99 ドル—レベル 5
500,000～999,999.99 ドル—レベル 6
1,000,000 ドル以上—レベル 7

クラブを認証する機会

「毎年あなたも 100 ドルを」クラブ

このバナーは、1 ロータリー年度に、一人あたりの平均寄付が少なくとも 100 米ドルに達し、正会員全員が年次プログラム基金にいくらかの金額を寄付することで、100 パーセントの参加率を達成したクラブに贈られます。この年次バナー認証は、ロータリー年度末に行われます。

100 パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブ

このバナー認証を受けるには、認証を申し込む時点で、クラブの全正会員がポール・ハリス・フェローになっていなければなりません。また、バナーに加え、クラブ名が RI ウェブサイトに掲載されている 100 パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブのリストに記載されます。1 度限りのこのバナー認証は、ロータリー年度を通じて随時授与されます。

100 パーセント「財団の友」会員のクラブ

この認証は、1 ロータリー年度に、一人あたりの寄付が少なくとも 100 米ドルに達し、クラブの正会員全員が年次プログラム基金にそれぞれ 100 米ドル以上を寄付したクラブに対して行われます。この年次バナー認証は、ロータリー年度末に、6 月 30 日現在の正会員に基づいて行われます。

年次プログラム基金への一人当たりの寄付額上位 3 クラブ

バナーは、各地区内で、一人当たりの寄付額が上位 3 位に入ったクラブに贈られます。資格を得るためには、クラブは、一人あたりの平均寄付が最低 50 米ドルに達していなければなりません。この年次バナー認証は、ロータリー年度末に行われます。

お忘れなく

地区の資金推進小委員会は、「会員アクセス」を通じてクラブ寄付認証概要（Club Recognition Summary）を入手できます。この概要報告書には、ベネファクター、ポール・ハリス・フェローの氏名、現在までの寄付に関する情報が記載されています。この報告書の読み方については、「クラブ寄付認証概要（CRS）を活用する」をご参照ください 。

認証ポイント

年次プログラム基金、ポリオ・プラス、WF（国際財団活動資金）を通じて、または財団補助金の提唱者側寄付として寄付を行った寄付者に対しは、認証ポイントが贈られます。このポイントは、上記基金への寄付、1米ドルに対し、1ポイントとなります。寄付者は、ほかの人にポール・ハリス・フェローやマルチプル・ポール・ハリス・フェローの称号を贈るために、財団の認証ポイントを使用することもできます。

資金推進のための特別行事

地区とクラブは、大口寄付者や卓越した奉仕活動をした個人を称えるなど、特別な行事を開くことによって、財団への寄付を推進することができます。

こうした特別行事の多くは、ロータリアンやロータリアン夫妻を対象としていますが、ロータリー以外の人々を招待して財団の活動を紹介しているクラブや地区もあります。

多くの寄付者にとって、財団に対する自分の寄付がしかるべき形で認証されることは、大きな意味があります。寄付者に感謝の意を示すために、以下の方法やそのほかの方法をご検討ください。

- 寄付者の氏名をクラブや地区の会報に載せるための許可を求める。
- 寄付者を公に称えるための特別プログラムを手配する（例：ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターの授与式や夕食会）。
- 寄付者に直接感謝を意を伝えるために、電話をする。
- 地区の財団活動について寄付者に最新情報を伝える。

また、ロータリー財団の目標や使命に貢献した地元地域、国、世界のリーダーに対し、ポール・ハリス・フェローの称号を贈っているロータリー・クラブもあります。このような認証には、(1) 個人を称えること、(2) 財団プログラムへの支援を推進すること、(3) ロータリー財団に対する一般の人々の好意的な認識を高めること、の3つの目的があります。

特定のプロジェクトにおける会員の奉仕や卓越した功績を称え、これを記念して寄付を行なっているクラブもありますが、財団もこれと同じ目的の賞や表彰プログラムを用意しています。

大口寄付は、寄付者の人生におけるロータリーの重要性、ならびに寄付者が亡くなった後にも末永く国際奉仕を支援したいという意思を表しています。ロータリー財団は、匿名性を保ち、公の認証を避けたいという寄付者の要望を尊重する一方、このような寛大に寄付に対して公に感謝の意を表す機会を貴重なものとして考えています。多くの場合、このような公の認証は、このような寄付をほかの人にも促すきっかけとなります。財団の認証は、認証品の授与や表彰を執り行うロータリアンを通じて要請されます。授与式や表彰式でのスピーチの見本が、通常、授与式担当のロータリアンやクラブ会長に提供されます。

小委員会の構成

資金推進小委員会は、地区における資金推進（募金）がどのように行なわれるかに応じて、柔軟に組織することができます。例えば、小委員会の責務を、年次プログラム基金への寄付と恒久基金への寄付に分けたり、財団晩餐会、ポール・ハリス・ソサエティ、大口寄付者、ポリオ・プラスといった具体的な任務に分けたりすることもできるでしょう。委員の人数を決定する際には、地区目標や、地区が重点を注ぎたい分野は何かを考慮に入れましょう。

資金推進に関するリソース

年次寄付

- 「毎年あなたも100ドルを」パンフレット（957）
- 毎年あなたも100ドルを［クラブ・サクセス・キット］（958）
- 「毎年あなたも100ドルを」DVD（978）
- 「毎年あなたも100ドルを」ニュースレター
- ポール・ハリス・ソサエティ・パンフレット（099）
- 二つのニーズに応える、二つの寄付方法 （173）
- 寄付送金・明細書式（日本用）
- Recognition Transfer Request Form（認証ポイント使用申請書、日本語版はRI日本事務局よりお取り寄せください）
- The Coach’s Playbook

恒久基金への寄付

- Securing the Future: Your Bequest to The Rotary Foundation (183)
- Gifts of Life Insurance (152)
- The Rotary Foundation Pooled Income Fund (154)
- ベネファクター寄付誓約書（149）
- 遺贈友の会申込書 （098）
- 二つのニーズに応える、二つの寄付方法 （173）
- Life Income Gifts (109)

The Rotary Foundation
of Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

300FV-JA—(810)